

教授 梶田 美香

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2017. 4. 10～7. 27 (各科目前期授業)	・実践を中心とした教育方法：実習科目では実際の学外事業に関わることができるように工夫。その結果、学生の企画制作した事業に対しての一般市民の反応がわかり易くなり、また授業への積極的な参加態度の醸成も可能となった。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の機会の提供：自らの意志の言語化を目的とし、また相手の興味に基づいたテーマ選定ができるようなスピーチ時間の提供（毎時）。</li> <li>・調査機会の提供：学習内容に即した課題を与え、それについて資料等で調べる機会を提供。</li> </ul>
◎その他		宗次ホールで行われた「アートマーケティングコンテスト」において、アウトリーチ実習Ⅰ履修者のチームが第3位を受賞（2016年8月31日）。その後、学生企画を宗次ホールで実施。

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市文化振興計画策定検討委員会ワーキングメンバー（2016年度）</li> <li>・小牧市文化振興推進会議委員</li> <li>・第2次岡崎市文化振興推進計画策定委員</li> <li>・日本アートマネジメント学会中部部会監査</li> </ul>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
「文化による協働のまちづくり—武豊町民会館12年のあゆみ—」	単著	2016. 11	武豊町民会館	武豊町民会館のオープン前から現在に至るまでの記録を、記録資料と役場職員、市民、劇場スタッフ等へのヒアリングをデータとしてまとめた。劇場のアーカイブは、必要性が認識されながらもなかなか手の付けられないものであり、今後の同会館運営への手掛かりになるだけでなく、公立文化施設運営や、地方自治体のまちづくり、アートと市民の関わり方など、多様な方面にとっての資料として貴重なものとなるはずである。
「おんぱく2016 この夏、長久手に音楽の王国が現れる！ 事業調査報告書」	単著	2017. 3	長久手市	数年来関わっている、長久手市主催の音楽フェスティバル「おんぱく」の調査報告書を、2016年度もまとめた。既に10年以上の歴史を持つ同フェスティバルだが、このようなイベントはその祝祭性がどのように地域に馴染み、またまちづくりに貢献できているのかは容易に数値化できるものではない。それゆえに本報告書の価値は高い。調査の結果から垣間見える長久手市民の芸術への造詣の深さや期待度の高さは、長久手市文化の家による長年の努力の結果だと言える。